

授業科目	入門中国語会話					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	神崎 明坤						
授業概要	入門中国語会話授業では、中国語の特徴と学習方法を説明します。中心に中国語の発音、母音、子音、声調、音節、単語、句、基本文法の学習、会話の練習を通して、中国語の言葉遣い方、話し方、習慣の表現等の特徴を理解し、基本応用能力を身に付けてもらいます。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国事情を適宜に紹介し授業を進めていきます。						
授業形態	対面授業			授業 方法			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1, 中国語の発音を正確に習得できる。 2, 中国語の基本文法を理解し、中国語で作文を習得できる。 3, 中郷語の基本的会話能力、読む能力を習得できる。 正確な中国語の発音及び中国語コミュニケーションの基礎能力を習得できる。
理想的レベル	流暢で簡単な中国語会話能力を身に付けることができる。またしっかり基礎的な中国語の文法を習得することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	100%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	ナンバリング	T011311J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
復習								4	

授業計画

第1回	中国、中国語に関する説明
第2回	中国語の発音、単母音、子音、声調などの学習 挨拶言葉の学習（1）
第3回	中国語の発音、単母音、子音、声調の学習 挨拶言葉の学習（2）
第4回	中国語の発音、複合母音の学習 挨拶言葉の学習（3）
第5回	中国語の発音、複合母音の学習 挨拶言葉の学習（4）

第 6 回	第 1 課発音の練習（1） 自己紹介、人称代名詞の学習（判断文） 私は学生です。
第 7 回	第 2 課発音の練習（2） 指示代名詞の学習（物の判断文） これは何ですか。
第 8 回	第 3 課、動詞述語文の学習（1） 動詞の使い方 貴方はどこに行きますか。
第 9 回	第 3 課 動詞の述語文の学習（2） 動詞の使い方 貴方は何を買いますか。
第 10 回	第 4 課 形容詞の述語文の学習（1） 形容詞の使い方 このかばんはどうですか。
第 11 回	第 4 課 形容詞の述語文の学習（2）、数字の使い方 私はカバンが二つあります。
第 12 回	第 5 課 時間表現の学習（1） 時間と数字の学習 貴方は夜用事がありますか。
第 13 回	第 5 課 時間表現の学習（2） 貴方は夜用事がありますか。
第 14 回	前期に学習した中国語の復習 発音の復習と簡単な会話文をビデオで鑑賞
第 15 回	期末テスト
テキスト	中国語はじめの一歩 竹島 肇 白水社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	やさしい詳しい中国語文法の基礎 守屋 広則 著 東方書店
課題に対するフィードバックの方法	小テストや発表、定期試験などを実施します。小テストや発表評価は採点後、返却します。毎回真面目に授業に参加すれば、無理なく中国語をマスターすることができる所以、頑張ってください。
学生へのメッセージ・コメント	できれば中国人の留学生と交流するようにしてください。言葉の勉強は一番近い道となるのです。また新聞やインターネットを通して、中国に関する情報の習得ができます。受講者は積極的に授業活動に参加することが求めます。毎回課題を提出し、復習を必ずしてください。